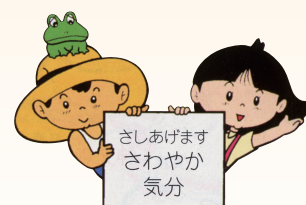




クリスマスを楽しむ広野保育所の児童

4 K映画祭開催	3 頁
森彦富氏 旭日雙光章受章	3 頁
神山町子ども議会	12 頁



12月定例会は、平成28年12月7日から12月16日まで10日間の会期で開催した。提出議案は神山町環境センター設置及び管理等に関する条例の一部改正についての専決1件、28年度補正予算5件、条例の制定1件、条例の一部改正7件、人事案件1件について、議会発議案2件など17議案を審議し、すべて承認、可決、同意した。

一般質問では5議員が登壇しそれぞれ町の考えを質問した。

日	平成28年12月定例会議案事項	掲載頁
第1日	町長から行政等の報告	3頁
	専決事項の説明と審議 <span style="float:right">【上程・審議・承認】</span> ・神山町環境センター設置及び管理等に関する条例の一部改正について <span style="float:right">【上程・審議・可決】</span> ・平成28年度一般会計補正予算（第4号）について ・職員の給与に関する条例の一部改正について ・町長等の給与に関する条例等の一部改正について <span style="float:right">【上程】</span> ・平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	4頁
第2日	・平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について <span style="float:right">【上程】</span> ・平成28年度介護保険特別会計補正予算（第3号）について ・平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について ・神山町税条例等の一部改正について ・神山町国民健康保険税条例の一部改正について ・神山町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について ・神山町特別職の職員で非常勤のもの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について ・神山町簡易水道事業給水条例の一部改正について ・神山町立学校設置条例の一部改正について	4頁
第7日	一般質問 西崎哲夫議員 佐出由恵議員 中西富士男議員 新居榮二議員 森本吉治議員	5頁～9頁
第10日	保留議案の審議 <span style="float:right">【審議・可決】</span> ・平成28年度特別会計（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療）補正予算について ・条例の制定及び一部改正について 人事案件 <span style="float:right">【上程・同意】</span> ・教育委員会委員の任命について <span style="float:right">【上程・審議・可決】</span> 議会発議案 ・地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について ・参議院選挙における合区の解消に関する意見書について	10頁～11頁

※第3日、第4日、第5日、第6日、第8日、第9日は議事日程の都合により休会とした。

### 人事案件

#### 教育委員会委員の任命

阿部健治氏 上分字川又

任期 平成28年12月16日から平成30年10月3日

# 町長からの行政報告

## 報告

### 4K映画祭開催

11月25日から27日まで寄井商店街を中心に北は札幌、南は鹿児島までのケーブルテレビ、テレビ会社が来られ、それぞれの作品を上映し、多くの方に見ていただきました。また神山すだち栽培60周年を記念し4K映像で30分間放映され多くの町内外の方々がご覧になられ喜んでいただけました。



4K映画祭で賑わう寄井商店街

### 阿波踊り連の桜花連が25周年を迎える

町内はもちろん町外でも踊り、また、被災地の宮古市や会津に慰問し、仮設住宅にお住まいの方々にも披露し大変喜んでいただきました。更なるご活躍をお祈りします。

### 鳥取地震への災害派遣等

昨年鳥取地震が発生。その際災害支援として湯梨浜町へ2名を派遣。その後の派遣の段取りをしていたが、同町より必要がないとのことでの派遣を終える。

11月19日に様々な非常事態を想定して職員の抜き打ち非常召集訓練を実施した。

### プログラミング学習（デコ型ロボット）モデル授業実施

12月8日、広野小学校にて総務省の実証実験として、サテライトオフィス（デコ型）ロボットを動かすプログラミング学習モデル授業を実施していただいた。この事業は国による2020年度の必修化に向けて検討中というなかで全国11校のモデル事業が実施されるが、そのうちの1校に選ばれたことになった。

### 財政・補正予算

#### 財政状況

平成28年度地方交付税が20億7900万円となり、昨年より4975万円の大規模な減額となった。2015年の国勢調査の結果、人口が前回よりも738人減少したことによるものである。歳出については、地方創生関連事業や子育て支援、高齢者福祉など多額の経費が必要となることから、計画的な予算計上、事業の効率化を図り、健全な財政運営に取り組みしていきたい。

### ■総務管理費

移住者支援の空き家改修の補助金2棟分を追加計上。

### ■民生費

地域介護・福祉空間整備推進交付金を活用して、福祉施設への介護ロボットの整備を進め、町内2施設へ配備予定している。消費税率の改定に伴い、所得の低い方々への負担を配慮するため、臨時的措置として一人当たり1万5000円を対象者2100人へ交付のための経費を計上。

### ■土木費

町道谷線の改良工事では国の社会資本整備総合交付金事業での追加内示があり、改修工事費を計上。また県単急傾斜地崩壊対策事業では3箇所での事業の内示があった。

### ■教育費

広野小学校の移転に伴い、旧神山東中学校改修工事を実施しているが、追加工事の予算を計上。

## 祝 森彦富氏

### 旭日雙光章受章

この度、これまでの功績が認められ、森彦富氏が11月3日に地方自治功労叙勲旭日雙光章を受章されました。

氏は、温厚篤実にして品行方正、清廉潔白な性格を身上とし、卓抜なる見識と指導力は高く評価され広く住民の信望を得、地域住民から推されて、神山町議会議員に、昭和55年当選以来8期32年の長きにわたり在職されました。

その間、氏は豊富な経験と卓越なる見識を持ち地方自治の発展に貢献すると共に、副議長、議長として議会の運営に尽力されました。

又、消防団員、交通安全活動、PTA・教育関係など様々な地方自治の発展にも寄与されました。

これからも、お元気で、地域において益々ご活躍されますよう祈念しております。



# 補正予算

## 平成28年度補正予算

一般会計（第4号）	補正額	1億1421万円（48億1708万円）
国民健康保険特別会計（第3号）	補正額	987万円（10億8482万円）
簡易水道事業特別会計（第3号）	補正額	0万円（1億9859万円）
介護保険特別会計（第3号）	補正額	70万円（11億1710万円）
後期高齢者医療特別会計（第3号）	補正額	5万円（1億2265万円）

予算合計 補正額 1億3483万円（73億4024万円）

平成28年度補正予算の主な内容	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>電算用備品購入費 610万円</li> <li>フードハブ神山施設整備工事 750万円</li> </ul>
産業 観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住者支援空家改修補助金 200万円</li> <li>農作物被害対策施設整備補助金 160万円</li> <li>神山温泉経営診断業務委託料 300万円</li> <li>多目的イベント広場整備工事 1200万円</li> </ul>
建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>県単林道工事 455万円</li> <li>治山工事 60万円</li> <li>社会資本整備総合交付金工事 1100万円</li> <li>県単急傾斜地崩壊対策工事 950万円</li> </ul>
健康 福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域介護・福祉空間整備推進交付金（介護ロボット等導入支援特別事業） 186万円</li> <li>介護保険特別会計繰出金 56万円</li> <li>臨時福祉給付費補助金（1万5000円×2100名） 3150万円</li> </ul>
税務 保険課	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険特別会計繰出金 192万円</li> </ul>
教育 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校備品移設業務委託料 195万円</li> <li>小学校施設改修工事（広野小学校） 1199万円</li> </ul>

## 平成28年神山町議会 第3回臨時議会

第3回臨時議会は平成28年11月11日開催した。

◎第56号専決第6号平成28年度神山町一般会計補正予算（第3号）について

◎第57号財産の取得について  
大埜地集合住宅建築木材（製材品）一式（コモンハウス1棟）購入

◎第58号財産の取得について  
大埜地集合住宅建築木材（製材品）一式（住戸A棟）購入

◎第59号財産の取得について  
大埜地集合住宅建築木材（製材品）一式（住戸B棟）購入

## 名西消防組合定例議会

平成28年第2回定例議会は12月7日石井町役場議場で開催した。条例制定2件、条例の一部改正、決算認定、補正予算それぞれ1件を審議し、いずれも原案どおり認定、可決した。

平成27年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額	5億3772万円
歳出総額	5億2619万円
差引き額	1153万円

平成28年度名西消防組合一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ597万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億4832万円とした。

# 一般質問



西崎哲夫 議員

## 質問①

左右内生活改善センターでの左右内地区住民による直産市等で販売する農産加工製造使用許可について。

(イ)販売目的とした、農産加工品は原則として自家水利用は不可といわれる。

(ロ)ほとんどが自家水利用のため加工品が限定される。

(ハ)直産市への出品者が固定しているが飲料水と施設の不備により対応が出来ない。

(ニ)地区農産物加工販売拡大のため施設使用を許可しては。

保健所の許可申請に町長の文書による使用許可書と製造場所の当施設の表示が必要である。

## 答弁（町長）

当施設の使用頻度は少ない



左右内生活改善センター

が、住民自治の代表格である左右内振興会の意向を聞きながら、もしそれで良いという話になれば使用が可能になると思うが、しかし現実に県教委のあわ文化学校等もあるので、そのあたりの兼ね合いもどうなっているのかという問題もあろうかと思

## ① 左右内生活改善センターの有効活用について

## ② 町内講師を対象とした、講師謝金の一部補助制度について

## 質問②

町民の方で各々の分野に秀でた人や、移住者の方にも各々の分野に秀でた方がいます。講師として依頼する場合、講師謝礼金の一部助成は出来ないか。

(イ)講師陣の登録制度でなく、適宜その都度利用者の申請制度にしては。

(ロ)少人数（5人以上程度）でも受講可能な集いも対象にしては。補助金額も1回3000円程度にしては。

## 答弁（町長）

移住者の秀でた技術や見識の深い方等を、地域住民との交流を深めるということに重きをおいているのかと思われるが、線引きが難しいのではないかと思う。現行の講師謝金については大学講師級1回2万円、高校以下の教員は1万5000円、町



過疎が進行し、空家が目立つ鍋岩地区

内講師については1万円の標準価格表を運用している。こうしたものを運用することが有効ではないかと思う。ただ線引きについては難しい点があると思う。

# 一般質問



佐出由恵 議員

## 質問①

先月の徳島新聞に徳島市と周辺5市町村の広域ゴミ処理施設候補地が決定との報道があったが、ゴミ処理施設を持たない神山町がなぜ平成24年当初より参加していない。安定してゴミ処理を行うためにも、参加すべきと思う。前町長時代より広域でゴミ処理施設を建設出来るように基金が積み立てられているにもかかわらず参加しない理由を町民の皆様に説明するべきと考えるので、広域ゴミ処理施設の建設計画に参加しない理由の説明を求める。

## 答弁（町長）

平成24年度に東部地区の担当者会議の事務局である徳島市よ

## ① 広域ゴミ処理施設について ② 紙おむつの収集について ③ 自転車通学生への支援について

り意向調査票が送られて来たのを受け、全員協議会で相談の上参加しないとの答えを出した。参加すれば、負担金を含む初期投資や、維持管理費が莫大になることや、稼働時の人口など考慮し、現在の分別によるゴミの減量化を図り住民の協力を得ながら地球環境に優しい手法で展開していくのが良いと考えて判断した。

## 質問②

現在紙おむつの収集回数は月2回となっているが、乳幼児や介護が必要な高齢者にとってなくてはならないものとなっている現在、若者がより良い子育て環境を求め町外へ転出する事がないよう、また、高齢者の方がゴミ出しを気にせず、紙おむつの交換が出来るよう収集回数を

増やし、自宅近くの収集場所へ出せるよう早急に改善すべきではないか。

## 答弁（町長）

気温の低い冬場は、2回でも大丈夫かと思うが、夏場は腐敗することもあろうかと考えた時、回数を増やすことも必要と考えているので検討課題とさせていただきます。

## 質問③

11月に開催された中学生による子ども議会において、石井駅までスクールバスを運行して欲しいとの発言があった。すでに町内のバス通学生には補助金が支給されており、また、本年度より町外から通学する城西高校神山分校生にも支給されているが自宅から自転車通学する生徒にはなんら支援策がとられてい

ない。本来ならば公共交通機関であるバスの回数を増やすべきだが、財政的にも実現は難しい事を考えるとアシスト自転車の使用が安全な通学に有効だと考えるが自転車通学生への支援をどのように考えているのか。

## 答弁（教育次長）

高等学校等へ通学する生徒に対し公共交通機関の通学費の助成をしているが、その他の交通手段については、助成を行っていない。夜遅くの自転車での帰宅は防犯面においても危惧されるので交通機関の利用を願いたい。

## 再問

これからの神山町を担う子どもが安全に通学できるための対策を講じるべきと考えるので引き続き検討を要望する。

# 一般質問



中西富士男 議員

## 質問①

本年度、県外視察研修で農業公社の現況等勉強してきたが、神山町でも特に水稲栽培、果樹栽培について農業公社の設立が必要と痛感する。水稲栽培は、現時点、各地区オペレーター者が頑張ってくれているが、年齢も高くなり後継者問題、高額な機械問題等考えられる。又、果樹栽培については、本年度も各地区すだちが収穫されず黄色くなっている園があり、日本一の生産地が恥ずかしく思われる。現在、神山町で、(株)フードハブ・プロジェクト設立で農業の将来に向けた担い手育成の事業に取り組んでいるのは頼もしいが、各栽培に手助けできる農業のプロジェクトが必要と思うので行政としての考えは。

## 答弁(産業観光課長)

神山町では、現在公社は設立していない。水稲栽培を委託する農家が組織をしております。「神山ファーム」という団体で

## ①

### 農業公社オペレーター事業について ② 神山町花祭り 道の駅、神光寺のぼり藤祭り、交通、駐車場問題について

水稲作業の受託を行っている。農業機械は、平成25年度に、「とくしま明日の農林水産業づくり事業」によりコンバイン、乾燥機それから高性能な水稲関連機械の一式を導入している。神山ファームでは、高性能機械導入に際して事業実施計画を立てており、平成30年度までは受託依頼の増加に対応できる計画となっている。しかし、31年度以降については、現時点では計画を立てていないので将来を見据え神山ファーム、JAと協議しながら事業の継続、又、それらに変わる支援策を考えていく必要があると考えている。

すだち、ゆずの収穫については、フードハブで担い手の育成という計画を立て、平成29年度から本格的に実施となる。神山町も農産物の収穫における労働力を求める農家が年々増えていることから、収穫されない果実が増えていると認識しており、JA、徳島農業支援センター、町で組織する定例会において労働力不足は課題となることが判

明している。そこで具体的に、無料職業紹介所を開設し人材を町内外から募集し、紹介、斡旋することにより労働力を補い平成29年のすだちの収穫に間に合わせよう開設を目指している。



フードハブ事業「かま屋」

## 質問②

桜祭り時、道の駅は大渋滞が予想される。神光寺藤祭りは駐車台数に限りがあり進入路が非常に狭い、対策はないか。

## 答弁(町長)

神山町内花盛りで、交通渋滞が発生し更には、駐車場問題等も浮き上がり今迄に類を見ない渋滞ぶりであった。対策はどんなものが考えられるだろうか

思い、石井署とも協議したが抜本的な対策というのは非常に難しい。例えば鬼籠野ゆうかの里は、今後実行委員会を立ち上げ、地域が事業主体となり桜の時期は展開し、神山町元気づくり事業にもエントリーしていただくなど駐車場づくりが進んでいる。神光寺の藤祭りも実行委員会等立ち上げていただくのが肝心でなかるうかと思う。又道の拡幅は当然のこと、対向の出来る町道にしたいという考えは持っている。併せて、この花の時期各要所、ゆうかの里入口、鬼籠野の信号交差点、あるいは青井夫の「木の香るまち神山」に警備員を置き、道の駅より奥へ行かれる車は大きなシンボルの木の棟から迂回し、青井夫谷線から石井神山線を回り神山中学校へ出ていただき、道の駅近くは上角旧商店街へ迂回の場合内板を立てるとか、加えて老人ホームに臨時駐車場を設けることも大事なかなと思っています。



神光寺ののぼり藤

# 一般質問



新居榮二 議員

## 質問①

昨年の桜満開時期において4月2日、国道438号が大渋滞に見舞われた。一時は新府能トンネル付近から道の駅の所まで車の大縦列ができた。神山鮎喰線においても養瀬トンネル付近から鬼籠野の信号まで渋滞が続いたと聞いている。そこで桜の時期に大渋滞が起きないように今から一方通行とか迂回路を準備し石井警察署のご協力を得て、2度と渋滞を起こさないよう未然に防ぐ必要があるかと思う。観光客に不快な印象を与えないためにも今から計画が必要と思われるので、5つの点を申し上げ担当課長の説明を求めたいと思う。花見客の交通案内の設置誘導対策と2点目に交通渋滞の緩和策について、3点目は迂回路に案内人を置くとか、4番目に駐車場の確保、5番目に

## ① 桜開花時期の国道438号交通渋滞緩和について

## ② 高齢者の免許証返納について

石井署の協力の依頼等についての考えは。

### 答弁（町長）

交通案内板の設置あるいは案内人の配置等々重要であり、適切な情報をドライバーに提供することが重要である。

道の駅の駐車場の確保についても養護老人ホーム寿泉園をお借りするのが一番であり、後は用地もご協力いただければどうかの展開になる。交通安全全協会なり石井署とも連携しながら取り組んでまいりたい。



明王寺のしだれ桜

### 再問

町長のご答弁よく分かった。観光客が納得して帰っていただく花見見物ができることを期待する。

## 質問②

高齢者の運転免許証返納について、当神山町でも高齢者の交通事故が増加している。今年9月頃、神山町下分左右内と下分喜来谷長野とで続けて人身に關係する事故があった。長野の転落事故では助手席に乗っていた方が亡くなられた。徳島県でも交通事故が多発継続中である。

今年の死者は46人中高齢者の死者が35人と約76パーセントを占める割合である。そこで徳島県では免許証返納者には証明書を発行し徳島バス・市営バス問わず半額の料金で来年から施行するようだ。そこで当神山町でも運転免許返納証明書を取得した町営バスの利用者には運賃の補助等を行えば返納者も増えると思う。これからの3点について担当課長の見解を求めたい。

まず1点目は運転免許証返納者に特典を与える。2点目には町営バス利用者に運賃の補助。3番目に交通死亡事故が起きた箇所に早急にガードレールの設置についての考えは。

### 答弁（町長）

神山町でも返納を促す意味でも特典をと考えておる時で、平成27年に8名、28年は11名の返納者がいる。

町営バスの無料化等考えたが料金を取らないと補助金を返還しなければならぬ。回数券なら大丈夫なようだ。もう一つの手法としてタクシーの利用料金の助成制度のサービスを現在は4冊まで可能だが自主返納の方には増刷するとか色々な特典を考えて交通事故のない明るい神山町づくりに務めたい。

### 答弁（建設課長）

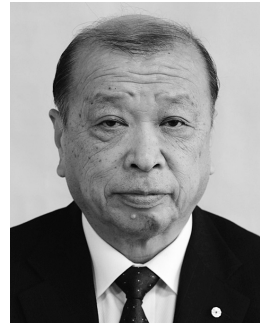
ガードレールの設置は地元からの要望のあった所に予算の範囲内で設置しているが、左右内の方で事故があった所については9月議会で補正をいただいですでに設置している。喜来谷の長野の事故については設置を検討し、設置する予定だ。



焼山寺への町道のガードレール



# 一般質問



森本吉治 議員

## 質問①

神領第二大埜地橋から神領小学校に向けての間に町道沿いに農業用水がある。また下分地区、栗生野橋より明王寺にかけても同じように町道沿いに農業用水路が存在している。前者の場合は小学校への通学路として利用されている。田植え時分には満水の水が流れ、誤って水路に転落しそうな箇所が見受けられる。後者の場合も同じことが言える。下分保育所への送迎、春の行楽シーズンには明王寺への抜け道として利用されている。そこで用水路に蓋を設置できれば、道路を広く利用することが出来るし、安全対策にもなると思うが、検討する気はないか。

## 答弁（建設課長）

中津本名線は、第二大埜地橋から300メートルの間用水路と並行している。過去に自転車で通学生が転落したことがあり、一部50メートルの間用水路関係者

## ① 大埜地地区・栗生野地区の町道の安全対策は ② 若者定住・一般住宅の展開の仕方について

をお願いし蓋をしてい。今後においては、用水路の管理上不便になるのと、地元からの要望、用水路関係者のご協力がないと全てに蓋をすることは難しいと考えている。また町道下分北線も夏用水が通ると道路と用水の水面が一緒のような感じで大変危険な場所もあるが、こちらでも用水路の維持管理に支障が生じるので、用水路関係者からの理解が得られないと考えている。



用水と併設されている大埜地の通学路

## 質問②

地方創生事業が特定地域に偏りすぎていないか。神山町では地方創生プランを策定、国に認められ多額の予算が交付されている。神領地区では地方創生による若者住宅の計画、フードハブといった、地産地食のテーマをかかげたレストランが開店しかけるなど賑わいであるが、他の地区では旧態依然である。

## 答弁（町長）

特に広野地区では、小学校の児童数も今春には30名を割ろうとしてい。過去に何度も広野地区に住宅をと要望しているが、見通しは立っていない。広い土地が無いのも一因である。他町では民間のアパート業者に、補助金を出して町内に数戸毎のアパートを建設してもらっている。広い土地もいらず、補助金を出すことで、その分建設費が安くなり、当然家賃も安く提供できるといこと、勝浦町ではこうした住宅が20戸ほど建設されている。人口減少の危機を補える住宅建設を前向きにとらえてほしい。

勝浦町での民間のハウスメーカーの事例、また昨年10月に視察に行った長野県下条村での村営住宅建設による人口減への対応策について話されたが、神山町東部地区に住宅建設をすべきと森本議員はかねてより質問されている。土地の問題等があり大規模となると厳しいので、小規模で数戸ずつとならざるを得

ない。民間のハウスメーカーに補助をして住宅建設を進めるとなると、問題なのは景観条例。これを神山町はしっかり打ち立てる必要がある。神山町のあるべき姿、景観等をしっかり打ち立てた上で、官民とも進めるべきと考える。仮に民間のハウスメーカーによる手法を使うとなると、景観条例を制定しておかないと、どのようなカラーの建物が建つか分からないようでは困る。制限があるだろうと考えている。また大規模の住宅建設となると、地すべり指定地域が入っていたりとして県当局との協議が非常に厳しい条件になっているので、小規模で展開していく必要があると考える。



補助により建設された住宅(勝浦町)

# 行政視察及び議員研修

## Ⅱ 四国新幹線導入要望 第60回町村議会議長全国大会

昨年11月9日東京NHKホールにおいて、「地方創生の実現を目指して」をメインテーマに開催された（第41回豪雪地帯町村議会議長全国大会を併せて開催）議長全国大会に参加した。

大会は安倍総理をはじめ二階自由民主党幹事長等の挨拶ほか、ほとんどの国会議員が入れ替わり立ち替わりと紹介されるの開会式であった。

飯田徳昭全国町村議会会長（三重県朝日町議会議長）から、被災地復興と並行した大規模災害対策の推進、地方創生の実現による強靱な国土の形成、

地方創生の実現のために必要な経費の確保、町村議会議員の人材確保に資するための方策の推進など、町村と町村議会に関わる喫緊の課題について、対策を施すよう国に要請したうえで、我々町村議会改革に努め、住民の信託に応えられる議会を構築していくとの決意を表明した。

次に、松尾純久副会長（熊本県玉東町議会議長）が、大会の意義を鮮明にするための宣言文を読み上げると、それに賛同する満場の拍手が会場を包んだ。

その後、東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立など17の決議、参議院選挙における合区の解消に関する特別決議など5件の特別決議案が提案され



町村議会議長全国大会の様子

採択された。また要望として、

地方創生のさらなる推進、分権型社会の実現と道州制導入反対など25案が提案決定され、各地区要望として「四国8の字ネットワーク」並びに「四国への新幹線導入」等公共交通の整備促進に関する要望など地域に課された9の要望も決議された。

大会終了後、記念講演として

「究極のチームワーク・リーダーシップ」と題し、オリンピックメダリストの武田美保氏による特別講演があった。目標を達成するためには、「継続すること」「モチベーションの維持」が不可欠。目標を達成することの本当の喜びが実感できるようにオリンピックのエピソードに基づきお話をいただいた。

11日は県下16町村の議長等とともに午前中は、筑波宇宙センターを訪問し、日本の宇宙開発の中枢であり、近年は安全保障・防災及び産業振興などにも大きな役割が期待されている「宇宙航空研究開発機構（JAXA）」を視察した。

午後は常総市を訪問し、平成27年9月関東・東北豪雨による被害状況と対策について伺い、市議会における対応、水害の検

証や振興対策の取り組みについて説明をいただき、本町議会において、今後の参考となる話を多々聞くことができた。



常総市での視察

(樫本雄一)

町村監査委員全国研修会に参加して

昨年11月1日(火)から2日(水)の2日間の日程で森代表

監査委員と高橋局長の3人でメルパルクホール東京で行われた監査委員の研修会に参加した。

午後1時からの開会行事、功

労者表彰などがあり、全国から500名余りの監査委員が参加し14時から中央大学院教授・弁護士野村修也氏の講演を聞くこととなった。「監査をめぐる最近の状況とコーポレート・ガバナンス」についての講演であ

ったが、コーポレート・ガバナンスの意味がわからず調べてみると「会社統治・企業統治」と訳され、企業は誰のため、どの方向づけされるべきかの考え方をいう。このことで90分間の講演を聞き、これからは監査委員の自立・独立を高め、外部監査委員の導入を進めるべきだ、と感じた。その後15時30分より

公認会計士、池田昭義氏の講演

研修が続き「効率的監査の執行と監査責任について」の話の中

で耳を傾注したことが2、3点あった。一つは監査における統一的な監査基準に関する規定が法令上ないことから、地方公共団体は統一的な監査基準を策定すべきである。またこの講師も外部監査制度の充実を唱えていた。

次に議選監査委員(議員の中から監査委員を選任する)は議会としての監視機能に特化していくという考え方もあることから、監査委員は専門性のある識見監査委員に委ね、議選監査委員を置かないことを選択肢として設けるべきとの提言がなされたのが心に残った。

翌日は9時30分より120分間(株)浜銀総合研究所シニアフェロー、佐藤裕弥生氏の講演「地

方公営企業の監査」があり、地方公営企業、病院、下水道、上水道の監査の着目点についての講演を聞く。神山町の場合は上水道施設がこれに該当し、今後予想される水道施設の老朽化に対処すべき料金体系を整えていくべきとの考えに至った。

(森本吉治)



町村監査委員全国研修会の開会式典

# 神山町子ども議会

平成28年11月25日 神山町議場

## 神山の風景

神山中学2年生、19名が参加して神山町子ども議会を神山町議場で開催した。

『持続可能な地域づくりをめざして』のテーマを掲げ、6グループに分かれそれぞれが町長はじめ町執行者に一般質問をした。

- 一、地方創生について
- 二、観光振興について
- 三、生活環境の改善について
- 四、学校教育全般について
- 五、学習環境（施設）の改善について
- 六、安全・安心体制の構築について



### 議会の動き

- 12月 16日 12月定例会
- 10日 桜花連設立25周年祝賀会
- 7日 徳島県町村議会議長会臨時会
- 1月 1日 神山町成人式
- 2日 神山町消防出初め式
- 8日 全員協議会
- 12日 市町村アカデミー特別セミナー
- 26日 徳島県町村議会議長会役員会
- 2月 27日 徳島県市町村トップセミナー
- 1日 近畿神山会総会
- 11日 徳島県町村監査委員協議会定期総会
- 16日 町内視察
- 21日 徳島県町村議会議長会定期総会
- 24日

### 編集後記

新年あけましておめでとうございませう。今年（西暦）は、新しいことに挑戦すること、運気が上昇する、そんな年だそう。町では「神山つなぐ公社」が立ち上がり、人口の減少する神山町の農業を次世代につないでいこうと誕生したフードハブプロジェクトの拠点施設が神領に完成し、本格的に活動が開始されようとしております。一年中で一番寒い時期ですが、ホットなニュースとして、町の活性化に一役かかっていただけると大いに期待されます。そして新たな名所になると確信しております。（榎本雄一）